

会		議		記		録	
会議の名称		決算特別委員会 (全体会)				会議場所 全員協議会室	
						担当職員 鈴木 智	
日 時	平成29年9月20日(水曜日)			開 議	午前 10 時 00 分		
				閉 議	午前 10 時 20 分		
出席委員		小島委員長、小川副委員長(環境厚生分科会委員長)、竹田総務文教分科会委員長、奥村産業建設分科会委員長 ほか委員16人 〔湊議長、菱田議員(委員外議員)〕 (欠席:明田委員)					
執行機関出席者		桂川市長、石野副市長、田中教育長、玉井病院事業管理者、藤村市長公室長、木村企画管理部長、大西総務部長、田中会計管理室長(会計管理者)					
事務局出席者		片岡事務局長、山内次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、池永主任、山末主事					
傍聴	可	市民0名		報道関係者1名		—	

会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

1 開 議

〔小島委員長 開議 (あいさつ)〕

〔事務局長 説明〕

〔議事調査係長 説明〕

2 決算審査

〔市長等 入室〕

1 0 : 0 7

<市長>

私にとって、就任後初編成となった平成28年度当初予算は、希望を追求し市民本位のまちづくりを進める、亀岡新時代序章の年として、第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～後期基本計画の5カ年を着実に進めるため編成した。依然として財政状況が厳しい中であるが、ふるさと納税をはじめ、財源確保に取り組むとともに、限られた財源を最大限に効果的・効率的に活用することを基本に予算執行に努めた。その結果、概ね順調に推移し、一般会計の実質収支は、市制施行以来の黒字決算を継続できた。各特別会計、企業会計のうち上水道事業会計、下水道事業会計については、純利益を計上した。病院事業会計については、医療サービスの向上や経営健全化、効率化を図った結果、微増ながら収益率は改善したが、平成28年度決算としては、純損失を計上した。平成29年3月には、急性期や救急医療を担う当院の果たすべき役割を明確化した市立病院新改革プランを策定し、4年後の平成32年度には、経常収支の黒字化を目指す。決算は将来の財政計画や各種まちづくり計画の推進における基礎的データとなるもので、分析・評価を怠ることなく有効に活用していく。

〔会計管理者 決算状況の概要説明〕

10 : 19

3 その他

＜小島委員長＞

各分科会は、10時30分からとする。

散会 10 : 20